

平安貴族の行動と見聞 —古典資料アーカイブ利用の試み—

A. メンバー

【事業推進担当者】 杉橋隆夫

【客員研究員】 谷昇、上島理恵子、佐伯智広

【PD】 花田卓司

【学内研究協力者】 佐古愛己、桃崎有一郎、滑川敦子、吉岡直人、駒井匠、田中誠、池松直樹

【その他】 マーチン・コルカット、岡田英樹、元木泰雄、西村隆、山本崇、井上幸治、田辺記子、横澤大典、長村祥知

B. 研究目的

本年度、本プロジェクトの主要な研究課題・目的は、当面、平安中・後期、鎌倉期の平安京とその周辺における貴族の移動や、京都への人の流入および京都から地方の流出について検討を加え、平安京・京都の都市構造と貴族社会における空間移動の問題および都鄙間交流の意義を具体的・総体的に追究するとともに、貴族の行動様式に影響を与える諸要件を解明するところにある。

さらに将来的には、鎌倉時代以降の時期、日本全土を視程に収め、かつ貴族層以外の武士・庶民、寺社関係者にも視野を拡大、各層相互の比較・検討を行い、長期的に全体像を把握することを課題として措定している。

研究手法上の特色としては、伝統的な歴史研究法たる現地調査・史料読解・分析等に加え、最新のGIS（地理情報システム）技術を導入している点

を指摘したい。

これらの技術を駆使して、行動軌跡を視覚表示する地図の作製を継続・推進するとともに、これまでに開発した、経路の使用頻度を自動計算するソフトに改良を加え、大量の移動軌跡をビジュアル化する技術それ自体の改良研究に取り組む。

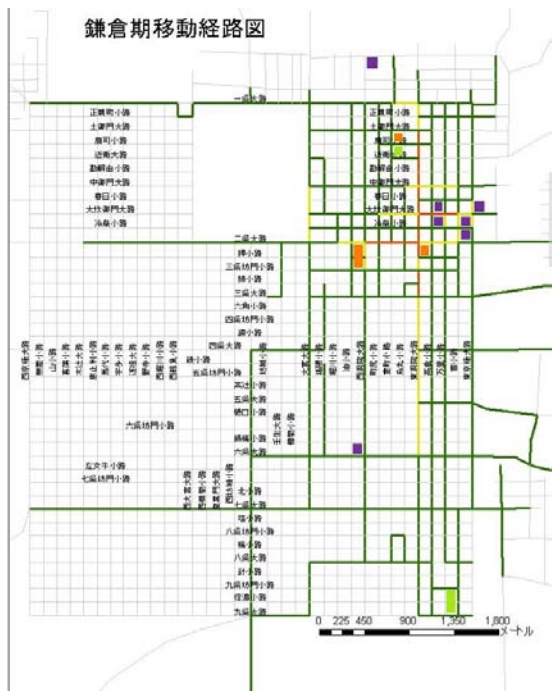
もって、最新の情報技術を適用した古典史料を活用する方途の拡大をはかり、歴史研究における新たな可能性を提示したいと考えている。

C. 本年度の成果

1) 移動経路図について

文学部・河角龍典研究室の協力を得て、新しい経路図表示システムを開発。国際学会報告や原稿化を遂行した（「業績一覧」参照）。移動表示範囲については「京郊」にまで拡大、時代的には、平安中期・後期、鎌倉初期の三期における変遷・比較を達成し、都市構造との関連を一程度明らかにしたが、地域的に「全国」レベルでは、素材の検討・調査を継続・集積中である。

次に今年度作成・公表した図の一部を、参考までに掲げておく。



2) その他の成果

既刊の『兵範記人名索引』の修訂版作成作業を終了した。「通称・異称名索引」のDB化についても、メンバーの一人が他の目的で開発したソフトの提供を承け、索引本体の原則との調整を経て完成に至った。

以上2点の成果に関しては、書肆と出版交渉中

E. 業績一覧

〈著書〉

杉橋隆夫『日本文化の源流を求めて 3』文理閣, 220p., 2012年3月

佐古愛己『平安貴族社会の秩序と昇進』思文閣出版, 500p., 2012年2月

〈著書 (分担執筆)〉

杉橋隆夫「京都の朝廷と関東の府」立命館大学文学部京都文化講座委員会編『立命館大学京都文化講座 京都に学ぶ第7 京都の公家と武家』白川書院, pp.26-45, 2011年7月

佐古愛己「平安貴族の『雅』と『武』」立命館大学文学部京都文化講座委員会編『立命館大学京都文化講座

である。

電子図書館構築関係では、情報理工学部・前田亮研究室に資料提供・助言しつつ、その推進に協力した。また、同研究室が開発したプログラムの治験・評価を担当した。

上賀茂神社蔵『賀茂旧記』の翻刻作業では、全体の約7割を解説、DB化した。翻刻支援プログラムの開発や関連史料のDB化も推進し、来年度中の完成、釈文の印行を目指している。

D. 論文・学会発表以外の活動の記録

ほぼ一週間に一度の割合で研究検討会を催し、研究分担と進行状況の調整をはかった。その他、関連プロジェクトとの間では、数次にわたり集中的に検討会を持った。その成果の一端が、経路図表示システムのバージョンアップであり、また人名表示ソフトの開発である。

なお2011年6月15日、プリンストン・グローバル・セミナーにおいて、本プロジェクト研究の一部を外国人学生・院生に説明し、意見を求め関心の所在を窺った。

京都の公家と武家』白川書院, pp.4-25, 2011年7月

佐古愛己「『兵範記』平信範一筆忠実な能吏が描いた激動期の撰関家―」元木泰雄, 松藺斉編『日記で読む日本中世史』ミネルヴァ書房, pp.38-51, 2011年11月

田中誠「中世平安京の都市構造―GISを用いた貴族の移動経路分析」富田美香, 木立雅朗, 松本郁代, 杉橋隆夫編『京都イメージ文化資源と京都文化―』ナカニシヤ出版, pp.14-27, 2012年3月30日, Makoto Tanaka, 'Urban Construction in Medieval *Heian-Kyō*: Analysis of Nobility Transit Routes Using GIS', Mika Tomita, Masaaki Kidachi, Ikuyo Matsumoto and Takao Sugihashi, "*Urban Image of Kyoto: Kyoto Culture and its Cultural Resources*", Nakanishiya Shuppan, pp.132-145, 30 March 2012

〈論文〉

桃崎有一郎「観応擾乱・正平一統前後の幕府執政『鎌倉殿』と東西幕府」年報中世史研究, 36, pp.33-60, 2011年5月

桃崎有一郎「鎌倉殿昇進拝賀の成立・継承と公武関係」日本歴史, 759, pp.17-34, 2011年8月

杉橋隆夫「鎌倉右大将家と征夷大將軍・補考」立命館文学, 624, pp.512-520, 2012年1月

佐古愛己「勸賞叙位の一考察―東宮・中宮関連の勸賞を事例として―」立命館文学, 624, pp.195-206, 2012年1月

桃崎有一郎「『西宮記』に見る平安中期慶申(拝賀・奏慶・慶賀)の形態と特質」立命館文学, 624, pp.74-94, 2012年1月

花田卓司「観応・文和年間における室町幕府軍事体制の転換」立命館文学, 624, pp.435-448, 2012年1月

上島理恵子「平安貴族社会における政務執行体制の一側面―六勝寺奉行を中心に―」立命館文学, 624, pp.181-194, 2012年1月

谷昇「興福寺・和泉国司紛争と後鳥羽上皇―建久九年初度熊野御幸をめぐる―」立命館文学, 624, pp.293-305, 2012年1月

滑川敦子「鎌倉幕府行列の成立と『随兵』の創出」立命館文学, 624, pp.329-345, 2012年1月

田中誠「康永三年における室町幕府引付方改編について」立命館文学, 624, pp.424-434, 2012年1月

〈口頭発表〉

池松直樹「鎌倉後期における恩賞給付システムと鎮西支配―蒙古合戦勲功賞を中心に―」, 第44回日本古文学学会大会, 國學院大學渋谷キャンパス(東京都渋谷区), 2011年9月25日

【審査付き】Takuji Hanada「GISを利用した中世京都合戦の分析: GIS Analysis of Medieval Battles in Kyoto」*The 13th International Conference of the European Association for Japanese Studies(EAJS)*, Tallinn University(Estonia), 26 August 2011

【審査付き】花田卓司「南北朝期の戦功注進」第109回史学会大会, 東京大学(東京都文京区), 2011年11月6日

谷昇「近江国中世史料に見る『村人』と在地」第2回「ムラの戸籍簿」研究会シンポジウム, 立命館大学衣笠キャンパス(京都市), 2011年10月10日

【審査付き】田中誠, 河原梓水「平安貴族と自然環境—平安京における『道』と貴族社会」*The 13th International Conference of the European Association for Japanese Studies Annual Meeting 2011*, Tallinn University(Estonia), 2011年8月26日

滑川敦子「鎌倉幕府行列の成立と『随兵』の創出」鎌倉時代研究会, 京都大学文学部古文書室(京都市), 2011年12月19日

〈講演〉

杉橋隆夫「日本中世の政治と法制」立命館大阪オフィス講座, 立命館大阪キャンパス(大阪市), 2011年10月12日

杉橋隆夫「近江源氏と佐々木道誉」立命館びわこ講座, 立命館大学びわこ・くさつキャンパス(草津市), 2011年10月15日

杉橋隆夫「京都と武権政府—平清盛から徳川慶喜まで—」第20回アカデミック京都ウオッチング, 立命館大学朱雀キャンパス(京都市), 2011年11月20日

杉橋隆夫「承久の乱—後鳥羽上皇の挫折と関東の進出—」ゴールデン・エイジ・アカデミー, 京都市生涯学習センター(京都市), 2012年1月13日

佐古愛己「八条院と院政期の京都」, 京都府八幡市リカレント教育推進講座, 八幡市生涯学習センター(八幡市), 2011年6月25日

佐古愛己「中世京都の公家文化」〈第20回アカデミック京都ウオッチング〉, 立命館大学衣笠キャンパス(京都市), 2011年11月20日

花田卓司「中世の合戦から京都をみる—南北朝内乱と京の争奪—」第2986回立命館土曜講座, 立命館大学末川記念会館(京都市), 2011年7月30日

〈その他〉

《書評》

桃崎有一郎「末柄豊校訂『京都御所東山御文庫蔵 地下文書』」日本古文書学会編『古文書研究』, 72, pp.144-146, 2011年10月

《発表要旨》

花田卓司「南北朝期の戦功注進」『史学雑誌』121編1号, pp.110, 史学会, 2012年1月

《講座》

佐古愛己「八条院と院政期の京都」京都府八幡市リカレント教育推進講座, 八幡市生涯学習センター(八幡市), 2011年6月25日

佐古愛己「中世京都の公家文化」第20回アカデミック京都ウオッチング, 立命館大学衣笠キャンパス(京

都市), 2011年11月20日

花田卓司「中世の合戦から京都をみる—南北朝内乱と京の争奪—」第2986回立命館土曜講座, 立命館大学
末川記念会館(京都市), 2011年7月30日

《シンポジウム報告》

谷昇「近江国中世史料に見る『村人』と在地」第2回「ムラの戸籍簿」シンポジウム報告, 立命館大学朱雀
キャンパス(京都市), 2011年10月10日